

宇宙通信システム技術や衛星リモートセンシング技術に関する研究開発

平成31年度予算案 調整中（平成30年度予算額7,504百万円の内数）

（国立研究開発法人情報通信研究機構運営費交付金）

総務省国際戦略局

宇宙通信政策課

03-5253-5768

事業の内容

事業の概要・目的

将来の宇宙通信ニーズを踏まえ、宇宙通信の高度化に貢献する先進的研究プロジェクトとして、次期技術試験衛星のための衛星通信システムや高機能地球局システムの研究開発、10Gbps級の地上-衛星間光データ伝送を可能とする光通信技術等の研究開発を推進。

地球温暖化に代表される気候変動等の予測技術高度化のために必須な全球降水観測計画主衛星搭載二周波降水レーダ(GPM/DPR、H26年2月打上げ)、ドップラー風ライダー、雲プロファイリングレーダ等の衛星リモートセンシング技術の研究開発を推進。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



運営費交付金

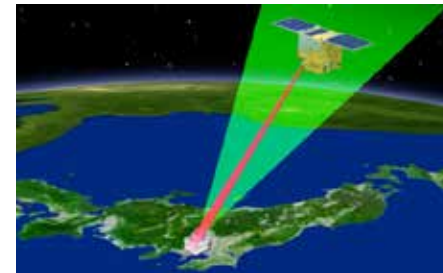
国立研究開発法人
情報通信研究機構

事業イメージ

【研究開発事業の例】



超高速インターネット衛星「きずな」を利用した通信実験



10Gbps級の地上-衛星間光データ伝送を可能とする
光通信技術の研究開発



衛星リモートセンシング技術により、風速、降水、雲・エアロゾル等をグローバル観測

衛星リモートセンシング技術の研究開発

戦略的情報通信研究開発推進事業 (SCOPE)

事業期間 (平成14年度～)

平成31年度予算案 1870百万円の内数 (平成30年度宇宙関連予算無し)

総務省国際戦略局

宇宙通信政策課

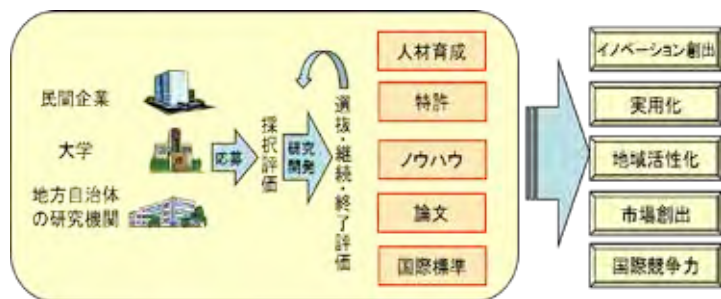
03-5253-5768

事業の内容

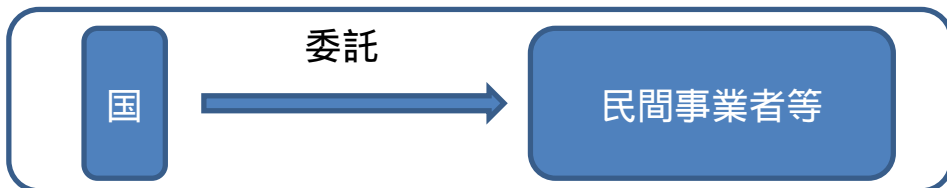
事業の概要・目的

情報通信技術 (ICT) 分野において、新規性に富む研究開発課題を大学・国立研究開発法人・企業・地方公共団体の研究機関などから広く公募し、外部有識者による選考評価の上、競争的資金により研究を委託。

これにより、技術実証・社会実装を意識した未来社会における新たな価値創造及びICT研究者の裾野の拡大と育成等を推進。



条件 (対象者、対象行為、補助率等)



事業イメージ

未来社会における新たな価値創造を図るため、ICT分野で国として取り組むべき基盤的な重点研究開発分野を設定。

新規性に富む研究開発課題を公募し、採択された課題の提案者に対して、研究開発を委託。

対象

民間企業、大学、高等専門学校、公的研究機関、NPO等の非営利団体等の研究者

採択評価のポイント

- 様々な社会的課題解決に資するICTの研究開発か。
- 技術実証・社会実装を意識した研究開発か。
- 産学連携による課題解決を目指した研究開発を推奨。

重点研究開発分野に、平成31年度から新たに、衛星データ利活用分野を追加。